

有水中学校校長室より

令和5年3月16日(木)
文責 木宮 崇子

この一年を振り返って…

保護者の方よりいただきました

- この一年間というより、私と子どもにとっては三年間。コロナ流行に始まり、子どもが中学校に入学して、色々な制限の中で感染対策をとりながら行事等が行われてきました。マスク生活が義務づけられている中で、工夫しながら学校生活を送ってきたと思います。その中でも、子どもたちが元気で過ごせてこられたのも先生方の一層のご苦労があったからだと思います。本当にありがとうございました。三年生はこの学舎を卒業して夢実現のために各々の道に進んでいきます。また、在校生は進級して新たなスタートラインに立ちます。卒業生も、在校生も中学校で共に過ごした時間を忘れないでいてもらいたいです。
- 子ども3人に恵まれて、最後の義務教育の年となりました。子育てを通じて、特に痛感したのは「学び続けること」の大切さです。子どもだけではなく、大人も学び続けることがその家族を幸せと優しさで一杯にし、そして、地域の人々も幸せに導くことができるのではないかと考えております。「心を美しくするとはどういうことか」という問いに対して、「自分の心を優しさで満たすことだ」と敬愛する稻盛和夫氏は教えてくれています。これからも子どもたちと共に学び続けたいと、決意を新たにしています。一年間ありがとうございました。

子どもへの愛情、親としての思い、考えが詰まった返信でした。お忙しい中の返信ありがとうございました。令和4年度、一年が過ぎました。ようやく、「マスクを外します。」というような世の中になりましたが、まだ油断できません。しかし、何かが変化してきました。今日卒業していく3年生が伸び伸びと高校生活を送ってくれることを祈らずにはいられません。保護者の方々におかれましては、本校の教育活動に多大なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

ご卒業おめでとうございます。

式辞より

十六名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。晴れ晴れとした心持ちではないでしょうか。今手にした卒業証書は中学校三年間の教育過程を修了した証として、また小学校からの九年間の義務教育を修了した証として、大切にして下さい。義務教育の修了は人生の大切な節目です。この節目に、これまで皆さんを育んで下さった保護者の方に、感謝の気持ちを是非伝えて下さい。

皆さんの中学校生活三年間は、聞き飽きるほど「新型コロナウイルス」という言葉を耳にしてきました。正体不明なウイルスに全世界が恐怖を抱き不安が広がりました。多くの情報が流れ、何が真実で何が偽りなのかさえはつきりしない時間が流れ、私たちの生活は変化を余儀なくされました。これを苦難の日々、と言い表す人もいました。確かに、なかなか苦しい日々があつたことは間違ひありません。しかし、私たちは、この状況の中で、真実を見極める力、どうにか工夫する力、自分と周囲の人たちの心と体の健康を守る力、そして、簡単にはへこたれない力を身につけたのではないでしょうか。そしてなにより、実は退屈だと感じていたかもしれない普通の一日というものがどれだけ大切であったかを痛いくらいわかつたのではないでしょうか。

今年度の夏は驚くほど暑さでした。酷暑の中、スポーツフェスタの準備で、汗を流し倉庫とグラウンドを何度も何度も往復しテントを運びました。各地に甚大な爪痕を残した台風14号が過ぎた後は、散乱した木の葉や折れた枝で絶望的に荒れたグラウンドを、全校生徒で辛抱強く掃除をしました。いよいよ私立の入試がスタートという時期には、数年に一度の寒波が襲い、一日中雪の舞う厳しい寒さの日もありました。そして今、周囲には鮮やかな黄色の菜の花が咲き、もうすでに春が来ていることを告げています。私たち人間の世界で何があうとも、自然の摂理はなにも変わることはありません。どんな困難が私たちの前に立ちはだかったとしても、新しい明日は訪れます。この数年を乗り切り培った力でこれから予測不能な時代をしぶとく生き抜いて下さい。

皆さんは四月より自分の考えと力で選んだ進路へと進みます。そこでは新しい出会い、まなび、体験があるでしょう。成長していく自分に充実感を感じることでしょう。また一方で、今までにない悩みや不安を感じることもあるでしょう。いつも楽しく心穏やかに生きていらつたらいいのでしょうか、人生はそうたやすいものではありません。今までの狭い世界から、広い世界へと進んでいく皆さん。搖るぎない意志としなやかな心を持って次のステージへと羽ばたいてください。

頼りがいのある皆さん、有水中学校を去って行くことは、在校生にとっても、私たち職員にとっても大変寂しく心細い思いです。しかし、皆さんが進んでいくそれぞれの場所でそれぞれの良さを發揮し輝いている消息を聞くことが、残された私たちへのエールとなります。みなさんの活躍に期待しています。卒業生の皆さん的人生が、幸福感多きものとなりますことを祈念いたします。

高校は義務教育ではないので、学ぶ意志が弱くなれば、ゲームセットになることがあります。単位を取らなければならないし、そのためには出席日数ということも大切になります。そうなると、まずは健康が一番です。身体の健康は心の健康から。卒業生の皆さんのがいつも健康ではつらつと高校生活を送ることができますように！！これまでよりも、朝も早く準備しなければならないし、遠い距離を通学します。生活力をしっかりと身につけてください。